

# 山ノ内町ゼロカーボンシティ宣言

～2050年CO<sub>2</sub>排出実質ゼロを目指して～

山ノ内町は、1980年に日本で最初のユネスコエコパーク（生物圏保存地域）の登録地域として、これまでも「自然と人間社会の共生」への取り組みを進めてまいりました。

国内有数のウインターリゾート地として、また、山地から流れ出る清らかな水と昼夜の寒暖差が大きい気候風土が生み出す高品質な農産物など、豊かな自然と美しい景観による恩恵を享受し発展してきた山ノ内町にとって、地球温暖化は極めて深刻な脅威となっています。

私たちの世代の責任は、この美しい山ノ内町を未来の子どもたちに引き継ぐため、環境への負荷を軽減し、持続可能な社会を実現することです。この宣言に基づき、地域住民、事業者、団体、そして行政が連携し、CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取り組みを一層強化してまいります。

以下の方針に基づき、CO<sub>2</sub>排出実質ゼロの町づくりに向けて具体的な行動を進めてまいります。

- CO<sub>2</sub>排出実質ゼロの町づくりに向けたロードマップ策定
- ユネスコエコパーク登録地域として生態系の保全と持続可能な利活用の調和
- 再生可能エネルギーの研究と活用を推進
- 施設や住宅などのエネルギー効率の向上
- 持続可能な交通システムの確立
- 農業・林業の持続可能性の確保と適切な森林整備
- 廃棄物の少排出社会の実現
- 環境教育（ESD）の一層の充実

この宣言は、私たちの未来への責任と決意を表明するものです。

持続可能な社会の実現に向けて、2050年までにCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを目指すことを宣言し、この素晴らしい山ノ内町の環境を、誇りを持って未来の世代に引き継ぐために全力を尽くしてまいります。

令和5年9月7日 山ノ内町